



みんなで守ろう！緑川

くもと・みんなの川と海づくりデー

9月9日（土）平成29年度「くもと・みんなの川と海づくりデー」緑川流域一斉清掃活動が実施されました。

県内の川と海を守って次代に引き継ぐことを目的に、県・町などが主催。町内では、甲佐中学校（井上幸三校長229人）の生徒128人を含む約250人が参加しました。

参加者は、中甲橋グリーンパーク、麻生原運動公園、津志田河川自然公園、安津橋周辺の4会場で早朝から集合し、空き缶や空き瓶など約220*_gのごみを収集しました。



▲麻生原運動公園で収集したごみの分別をする参加者

減災教育の取り組みで連携

お茶の水女子大と町教委で相互協定を締結



▲乙女小で開催された「減災教育に関する連携授業」では、お茶の水女子大が開発した「月の満ち欠け観察キット」を活用した授業を受講



▲旧石器時代から奈良時代までについて講演

甲佐町の原始と古代を学ぶ

第9回新甲佐町史歴史研修会

9月3日（日）町生涯学習センターで、第9回新甲佐町史歴史研修会が開催されました。同研修会は、平成25年に刊行した『新甲佐町史』編纂に携わった島津義昭さん（崇城大学講師）を講師に迎え、本町の旧石器時代から奈良時代にかけて講演され、32人が受講しました。今回は、上早川にある大峯遺跡や幸野原遺跡などの旧石器時代の遺跡について島津さんと受講生で討議したり、奈良時代に律令国家となった日本と県内の状況について、寺院・道路の建設や大規模な圃（ほ）場の整備などに関する発掘調査を基に説明されました。

9月8日（金）乙女小学校（松田秀喜校長123人）で、同小と国立大学法人・お茶の水女子大学（室伏きみ子学長・東京都）との「減災教育に関する連携授業」が開催されました。

授業では、同大が開発した災害時でも活用できるように工夫された教材を使って実施。今回は「月の形とその変化」と題して、「月の満ち欠け観察キット」を使用して観察する理科の授業を同小6年生が受講。同小教員と同大教員などが連携して授業に当たり、鏡を使って月の満ち欠けについて観察できるように製作されたキットを活用して、児童たちは観察と実習を行いました。

この連携授業は、同大が東日本大震災や熊本地震において取り組む被災地教育復興支援の一環として実施している防災・減災教育および震災復興に向けた取り組みに関して、町教育委員会と同大が9月6日（水）に相互協定を締結したことにより実現しました。今年度から平成33年度まで、同大と町教委とで相互連携を図り、今後も町内小学校で多様な取り組みを実施します。

▼町総合保健福祉センターで開催された「こうさてん」ワークショップ



9月2日（土）町総合保健福祉センターで、「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」OSTワークショップが開催されました。同プロジェクトは、交流人口の増加を促して地域の活性化を図る企画について、町内外の皆さんが幅広く参加して考える取り組み。8月には「あるもの発見講座」と題して、地域の方の説明を聴きながら散策して地域の魅力あるものを発見して絵地図として制作するプロジェクトを2回実施。今回は、「講座」で企画されたアイデアを踏まえて、ワークショップ（全員参加型の話し合い）によって参加者のさまざまな意見や考えを合わせて具体的な企画案を練り上げました。ワークショップには47人が参加。グループごとに、本町の魅力についてのアイデアを話し合い、企画案をまとめて発表しました。16日（土）開催予定でした第2回は、台風18号のため中止となりました。

映画で笑顔のひととき

震災復興「親子映画上映会」

8月26日（土）・27日（日）町生涯学習センターで、親子映画上映会が開催されました。

熊本地震からの復興支援活動として、生活共同組合くもとなどの共催、町教育委員会などが後援。アニメ映画「ヒックとドラゴン」や映画「男はつらいよ」が上映されるとともに、子どもが遊べる手作りゲームや綿菓子などのバザーや炊き出しなども会場で行われました。

上映会には2日間で約150人が来場し、スクリーンでの映画とイベントを楽しみました。



▲町生涯学習センターなどで開催された映画上映会

地域の宝を生かすアイデア

「こうさてんプロジェクト」ワークショップ

9月2日（土）町総合保健福祉センターで、「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」OSTワークショップが開催されました。同プロジェクトは、交流人口の増加を促して地域の活性化を図る企画について、町内外の皆さんが幅広く参加して考える取り組み。8月には「あるもの発見講座」と題して、地域の方の説明を聴きながら散策して地域の魅力あるものを発見して絵地図として制作するプロジェクトを2回実施。今回は、「講座」で企画されたアイデアを踏まえて、ワークショップ（全員参加型の話し合い）によって参加者のさまざまな意見や考えを合わせて具体的な企画案を練り上げました。ワークショップには47人が参加。グループごとに、本町の魅力についてのアイデアを話し合い、企画案をまとめて発表しました。16日（土）開催予定でした第2回は、台風18号のため中止となりました。



▲町内各小学校から大会に出場した代表児童たち

童話を通して心を育てる

平成29年度町童話発表大会

9月4日（月）白旗小学校で、平成29年度町童話発表大会が開催されました。同大会は、児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けるとともに、読書意欲の向上を図り豊かな人間性を育成することを目的に、町教育委員会が主催。町内の各小学校から選ばれた8人の児童が出場し、童話を発表しました。最優秀賞には、『こめんねメリ』を発表した藤井太志くん（乙女小6年・世持区）と、『あのあいたおけ』を発表した内村あかりさん（白旗小6年・吉田区）が選ばれ、8日（金）開催の郡大会に出場しました。